

提 案 概 要

実施期日	7月28日(火)【午後】
部会名	小学校 社会部会

1 提案テーマ 『共に学ぶ ～聴く子考える子表現し伝え合う子～

社会的事象を自分事として考える児童を目指して』

2 単元(題材) 「暮らしの中の政治」～憲法と私たちの暮らし～

3 学年 第6学年

4 平成27・28年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

③よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培うための学習指導と評価の工夫・改善

5 学習指導要領との関連

第2章 第2節 社会 第2 各学年の目標及び内容〔第6学年〕 2内容

(2)我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。

イ 日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること。

6 実践に向けての課題意識

今回、年間を通して計画的・横断的に子どもたちが自ら考えをもつことを目標に取り組んできた。6年生から始まった歴史の学習を通して、子どもたちは資料から情報を読み取る力を高めてきた。その中でも「戦争から平和へ」の単元では、戦争は世の中から人間らしい・子どもらしい生活を奪ってしまうということについて、子どもたちが自分事として捉え考えられるよう、様々な資料や被爆者のお話などの事実を通して学んだ。学習の中では、戦時中に子どもたちが受けていた教育から当時の子どもたちの想いを想像し『こんな教育を受けていると、こんな考え方になるのかもしれないけれど、戦時中の子どもたちは本当に、戦争をしたかったのかな。』というような意見がでてきた。一人ひとりが自分で得た情報から、多面的に物事を捉え、考えていくことができたと思う。しかし、日本の平和な現状に喜ぶ一方で、世界の現状に目を向けるところまでは至っていなかった。本単元では、歴史の学習を通して獲得した資料から情報を読み取る力を活かしながら、「平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切である」ことを自覚し、これからの日本を担っていく自分たちにできることを話し合う中で、互いの意見を尊重し合い、考えていくことができるように計画した。

7 実践の概要

「平和憲法」を扱う小単元を重点化して大単元を構成した。平和を願う日本人として、世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚し、これからの日本を担っていく自分たちの行動を考えることを目標にし、話し合い活動の充実に努めながら実践を進めた。憲法第9条ができた後の出来事(湾岸戦争での日本への批判や北朝鮮からのミサイルの問題など事実に基づいた資料)を提示し、知識を得たうえで個人→グループ→全体→個人の流れの中で、子どもたち各々が日本のあり方を、自分事として考えられるようにした。また、得た情報を基に自分なりに考えようとしているかについて、ワークシートを通して評価した。

8 成果と課題

今回、子ども一人ひとりが自分の意見を持ち、聴き合い・伝え合う活動を取り入れて、社会科の授業実践に臨んだ。平和に関しては、年間を通して朝の会や様々な教科などで、事実をもとに計画的・横断的に学ぶ機会をつくった。また、一目で1時間に学習したことが分かるように、ワークシートを工夫した。それと同時に、グループで考えを交流する時間をつくり、それぞれが様々な考えをもっていることを認め合いながら、学習を進めてきた。具体的には、「①自分の意見をもつ。②グループ内で聴き合い、伝え合い、互いの意見を認め合う。③クラス全体での発表を通して様々な考えを知る。④最後にまた自分の意見をまとめ直す。」という、クラスで取り組んできた学習の流れを土台に、子どもたちは平和について自分の考えを深めることができた。

一方で、これからの日本を担っていく子どもたちが、自分たちにできることを友だちと話し合い、互いの意見を尊重し、考えていくためには、子どもたちが憲法について興味を持ち、より理解を深めたうえでの話し合い活動が必要だと感じた。公民の学習では実際に模擬選挙を行ったり、憲法がない社会について考えたりすることで、子どもたちと政治や憲法の距離は縮まったと思う。しかし、それらを自分事として考えるところまでは、まだまだ到達していない。それぞれが自分の生活と日本国憲法をつながりのあるものとして捉え、それに対する自らの意見をもつことができるように、子どもたちにとって身近な事象を、様々な場面で取り上げていくことが大切だと思う。これらの点については今後の研究課題としていきたい。

9 予想される協議の柱

- ・社会的事象を自分と関わりのあることとして考える力をつけるための取組
- ・子どもたちが互いに認め合いながら考えを伝え合うための取組(話し合い活動)